

広島市立己斐上中学校 第1学年「美術科」 シラバス

学年の目標

- (1) 楽しく美術活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- (2) 対象を深く観察する力、感性や創造力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎技能を身につけ、多様な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
- (3) 自然や美術作品などについて基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てる。

月	学習内容(時数)	学習ねらい
4	「美術って何だろう」 【1】	・ 美術を学ぶ意味や表現することの素晴らしさを感じ取る。
	1 感じたことを話し合おう 【1】	・ いろいろな発見と対話を促し、美術への興味や関心を高めていく。
	旅する人々 (鑑賞①) 序章・感じる心があるからから 【1】	・ 美術の領域と作品、作家について知り主体的によさや美しさを感じ取ることができる。 ・ 美術の学びへの期待と意欲を高めるとともに、身近な世界の中に形や色彩の美しさや材料や光などの魅力を感じる力を高める。
5	2 自然の形や色 【5】	・ 感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを表現することに関心を持ち、主体的に主題を生み出そうとしている。
	デザイン用具の使い方	・ 用具、材料の特性を考え、目的に合った技法を効果的に使用することができる。
	溝引き 色の整理 日本の伝統色 点画、字画 永字八法	・ 色彩の持つ豊かな表情と技法の面白さを感じ取り、意図的に混色する力を高める。 ・ 明朝体とゴシック体の違いを理解し、文字をデザインすることができる。
6	3 文字やかたちで伝える 【10】	・ 造形的なよさや美しさに関心を持ち、主体的に感じ表現することができる。
	名前のデザイン	・ 名前に使われている漢字の意味を調べて絵で表現できる。
	1. アイデアスケッチ	・ 文字とスケッチを組み合わせ、完成のイメージをもって構成する。
	2. さまざまな色 色相環/三原色 3. 彩色	・ 美しい配色やイメージに合った配色を意図的に工夫できる。 ・ 用具の使い方を復習し、正しい用具の使い方でも彩色する。
7	4 物語のひとこま (鑑賞②) 【8】	・ 感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに気付いたりすることができる。
	1. 鑑賞	・ 印象派の作品を鑑賞し、創造的な技能で作品を描くことができる。
	2. 観察画 アイデアスケッチ	・ 構想、構成を工夫してイメージを膨らませて、想像したことをスケッチすることができる。
9	3. 点描法	・ 点描法を理解して効果的に作品に彩色できる。
	10	5 描かれた生き物たち (鑑賞③) 【2】
江戸時代の美術作品を鑑賞し、作品を親しみを深めてスケッチや鑑賞ができる。		
11	6 さまざまな材料や技法をつかって 【5】	・ モダンテクニックの技法で創造的に作品をつくる。
	モダンテクニック	・ 形や色を組み合わせ、様々な材料や技法を工夫し、表情豊かな作品作りができる。
	チョウのデザイン	・ デカルコマニーの技法を理解し、シンメトリー作品を創造的に制作することができる。
	1. アイデアスケッチ 2. 彩色 デカルコマニー	・ イメージに合った形を意図的に構成してスケッチができる。 ・ 美しい配色やイメージに合った配色を意図的に色を混色して作ることができる。
12	7 ジャパンにひらめきを得た (鑑賞④) 【2】	・ 幕末の美術作品と印象派の作品を鑑賞し、作品の理解を深めてスケッチや鑑賞することができる。
	8 彫刻・レリーフ (鑑賞⑤) 【10】	・ 彫刻表現の奥深さや豊かさに関心を持ち、制作の計画を立てることができる。
	1. テーマ決め	・ 彫刻作品を鑑賞し、動きや広がりのある構想を練ることができる。
	2. アイデアスケッチ	・ 構想、構成を工夫してイメージを膨らませて想像したことをスケッチすることができる。
3	3. レリーフ制作	・ 制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもってレリーフ作品を作ることができる。

評価の方法

- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| ① 美術への意欲、関心、態度 | 定期テスト、授業の様子、制作表、忘れ物、提出物の状況などで評価 |
| ② 発想や構想の能力 | 定期テスト、アイデアスケッチ、作品の配色決め、作品の構成などで評価 |
| ③ 創造的な技能 | 定期テスト、作品のオリジナリティー、色作り、完成度などで評価 |
| ④ 鑑賞の能力 | 定期テスト、観察画、作品鑑賞の感想文、鑑賞メモ、制作表などで評価 |